

日時 令和6年2月27日(火) 13時30分～14時25分

場所 事務局2階 大会議室

【一部の構成員等(※を付した者)はオンラインで出席】

出席者 伊藤学長

鶴原、酒井、吉岡、木下、西岡、田中※ 各理事

欠席者 なし

陪席者 服部、小川 各監事

池田、尾西 各副理事

企画総務部長、財務部長、学務部長、施設部長、研究・地域連携部長、国際・情報部長、

医学・病院管理部長

監査課長

企画総務部総務チーム

I. 審議事項

1. 全学センター等組織の体制について

鶴原理事、吉岡理事及び酒井理事から、「資料：審-1」に基づき、教育研究組織体制の明確化、教員の研究時間確保及び会議に要する人件費等の経費削減を目的とした全学センター等組織の見直しに関し、教育・学生支援、研究・社会連携及び地域拠点サテライト等のそれぞれの領域について、令和5年12月20日開催の教育研究評議会で示された資料からの変更内容の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

2. 国立大学法人三重大学新教育研究拠点設置構想検討委員会規程の新規制定について

吉岡理事から、「資料：審-2」に基づき、JR四日市駅前における本学の新教育研究拠点の設置構想に関し、「国立大学法人三重大学新教育研究拠点設置構想検討委員会」を設置して多角的な視点から検討を行うため、同委員会規程を制定することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

3. 三重大学アクションプラン2030の策定について

学長から、「資料：審-3」に基づき、暫定版として策定された「三重大学アクションプラン2030 ver.0」へのパブリックコメントの意見や全学センター等組織の見直しを受け、ver.0を更新し、「三重大学アクションプラン2030」を策定することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

4. 工学部と鳥羽商船高等専門学校との連携プログラムについて

鶴原理事から、「資料：審-4」に基づき、実践力を身につけた創造的な技術者を養成するため、鳥羽商船高等専門学校と本学工学部とが連携教育プログラムの協定書を締結し、それぞれの教育研究資源を有効活用しつつ教育内容の高度化を図り、大学院入学までを視野に入れたシームレスな教育を行うことについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

5. 三重大学高度情報専門人材育成事業に伴う工学部の改組について
鶴原理事から、「資料：審－5」に基づき、「令和5年度大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）」において「三重大学高度情報専門人材育成事業」が選定されたことを受け、令和7年度から工学部総合工学科情報工学コースの入学定員及び収容定員を増員するとともに、電子情報工学コースを新たに設置することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
6. 三重大学ダイバーシティ&インクルージョン推進計画等の一部改正について
企画総務部長から、「資料：審－6」に基づき、教育研究評議会規程第3条第1項第6号評議員に関する申合せが制定されたこと及び三重大学賞表彰取扱要項が変更されたことを受け、三重大学ダイバーシティ&インクルージョン推進計画及び同アクションプランを現状に即し一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
7. 外部資金獲得者へのインセンティブ制度の導入に伴う規程等の改正について
吉岡理事から、「資料：審－7」に基づき、外部資金獲得者のモチベーション向上による研究の活性化を目的とし、インセンティブ制度である「三重大学外部資金獲得者に対する報奨規程」及び「競争的研究費からの研究代表者等の人件費支出により確保された財源の活用に関する取扱要項」を改正し、外部資金獲得者の処遇改善を図ることについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
8. ネーミングライツパートナーの選定について
酒井理事から、「資料：審－8」に基づき、三重大学ネーミングライツ事業に関し、応募のあった5つの施設及びスペースについて、ネーミングライツ選定委員会にて応募資格、愛称等の内容、ネーミングライツ料及び契約期間等の観点から審査を行い、ネーミングライツパートナーの選定案を取りまとめたことについて説明があった。続いて、応募のあった5件について選考が行われ、審議の結果、選定案のとおり承認された。
なお、今回応募がなかったあるいは「否」となった施設等については、公募期間を延長することとなった。
9. 令和5年度大型設備等購入計画（附属病院）について
木下理事から、「資料：審－9」に基づき、装置の台数不足や老朽化による故障修理費の増加等に対応するため、附属病院収入を財源として、輸液ポンプ及びシリンジポンプを調達（更新）することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
10. 三重大学上浜キャンパス緑花計画（案）について
木下理事から、「資料：審－10-1、10-2、参考1」に基づき、人と自然との調和・共生を目指し、環境先進大学としてのキャンパス整備を推進するため、緑地の整備計画、現状の問題点と改善計画及び維持管理計画等をまとめた「三重大学上浜キャンパス緑花計画」を策定することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

11. 人事労務に関する規程等の改正について

木下理事から、「資料：審－11」に基づき、感染症みらい社会教育研究センターで雇用する教授に10年の任期を付すため、「国立大学法人三重大学における大学教員の任期に関する規程」を改正すること、また研究力の強化を目的に、令和6年度から研究活動マネジメント、研究資金獲得及び産学連携活動等の研究支援業務を専門的に行う専門職（URA）を配置することに伴い、関係規程等を改正することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

12. 国立大学法人三重大学学則の一部改正について

木下理事から、「資料：審－12」に基づき、検定料免除の取扱いの見直し、生物資源学部における学科改組、医学部医学科における定員増、全学センター等組織の見直し、休学者の授業料の取扱いの見直し及びURA制度の新設に伴い、本学学則を一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

13. 三重大学大学院学則の一部改正について

木下理事から、「資料：審－13」に基づき、検定料免除の取扱いの見直し、全学センター等組織の見直し及び専門職大学院設置基準の改正に伴い、本学大学院学則を一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

14. 三重大学検定料免除取扱規程の一部改正について

鶴原理事から、「資料：審－14」に基づき、鳥羽商船高等専門学校と本学工学部とが連携教育プログラムの協定書を締結することを契機に、他の大学や高等専門学校等との協定に基づき受け入れる学生の検定料を免除することができるよう、「三重大学検定料免除取扱規程」を一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

15. クロスアポイントメント制度の適用について

企画総務部長から、「資料：審－15」に基づき、実践的なアントレプレナーシップ教育の充実を目的として、クロスアポイントメント制度を適用することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

16. 学内共同教育研究施設等の特任教員の採用等について

企画総務部長から、「資料：審－16」に基づき、高等教育デザイン・推進機構運営会議にて承認された5名及び学生総合支援機構運営会議にて承認された1名の特任教員の採用候補者の選考について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

17. 大学教員の採用等協議について

企画総務部長から、「資料：審－17」に基づき、11件（人文学部3件、教育学研究科1件、医学系研究科1件、生物資源学研究科2件、地域イノベーション学研究科1件、高等教育デザイン・推進機構1件、研究基盤推進機構2件）の大学教員の採用等協議について説明があり、審議の結果、連番11の採用等協議については「雇用枠等」の記載を「スタートアップ経費」から「学長裁量経費」に修正した上で、それ以外の10件については原案どおり手続きを進めることが承認された。

18. 大学教員の採用等について

企画総務部長から、「資料：審－18」に基づき、採用協議承認済の6件（人文学部2件、教育学部2件、高等教育デザイン・推進機構1件、研究基盤推進機構1件）の大学教員の採用等について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

19. 令和6年度役員・副学長・学長補佐等体制（案）について

学長から、「資料：審－19」に基づき、令和6年度の役員・副学長・学長補佐等体制（案）について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

20. 令和5年度実績を対象とした部局の長に係る評価結果について

学長から、「資料：席上配付・回収」に基づき、令和5年度の実績を対象とした各部局の長に係る評価結果について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

21. その他

なし

II. 報告事項

1. 内部監査報告（公的研究費の執行状況並びに管理体制）について

監査課長から、「資料：報－1」に基づき、「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（文部科学大臣決定）」及び本学の公的研究費の不正防止に関する要項等により実施する、公的研究費の執行状況並びに管理体制に係る内部監査結果について報告があった。

2. 内部監査報告（法人文書の管理）について

監査課長から、「資料：報－2」に基づき、本学の法人文書管理規程第21条第2項により実施する、法人文書の管理に係る内部監査結果について報告があった。

3. 医学部附属病院の稼働実績と収支報告について

池田病院長（副理事）から、「資料：報－3」に基づき、医学部附属病院における令和5年度1月の稼働状況と、12月の収支実績について報告があった。

4. その他

なし

以上